

オーブンプラン5年生 算数「体積・容積」

5年生の算数では「体積・容積」について学習します。

その中でも $1\text{ m}^3 = \square\text{ L}$ と単位が変わってしまうと
子どもたちは？となり、つまづきの原因となってしまうがちです。

体積や容積を求めることはできても単位換算を苦手とする
子どもは実は多いのです。

そこで、教科書やテキストの図や絵で理解を済ませることで終わらず
実際に自分たちで 1 m^3 の立方体を作って
何Lになるのかを確かめてみました。

まず、学校にある 1 m^3 を見て予想を立てました。
そして工作用紙で $10\text{ cm} \times 10\text{ cm} \times 10\text{ cm}$ の
立方体(1L)をたくさん作りました。



すると 1 m^3 の1辺に1Lの立方体が10個ならぶことがわかります。



それが縦×横×高さで $10 \times 10 \times 10$ となり
1000 個の立方体がならぶことが視覚的にもわかります。



だから、 1m^3 は 1L の立方体が 1000 個になる

$$1\text{m}^3 = 1000\text{L}$$

と自分たちの目ではっきりとわかるのです。



オーブンプランの算数では子どもたちのつまずきそうなポイントをあらかじめ想定し
子どもたちにどのような経験を積ませればよいのかを第一に考えます。

そして、その経験を通して理解を深めていく活動をたっぷりと行っていきます。

これがオーブンプランの教師が大切にしていることです。